

出前講座

分 野：「子ども」

テ ー マ：子どもの頃から始めるお口の健康づくり ―良い歯や歯並びのために―

職・氏名： 歯科衛生学科 教授 海原 康孝

◆概 要：

子どもの成長発達に合わせたお口の健康づくりののポイントについてお話しします。

◆内 容：

口の中の健康を保つ方法と言えば、多くの方が真っ先に思い起こすのは歯みがきでしょう。私も歯科医学を勉強するまでは歯みがきしか知りませんでした。しかし、歯科医となり、多くの子どもと接してみて、よい歯やかみ合わせのためには、歯みがきの上手な仕方だけでなく、「偏食しない」、「口を閉じる」、「よくかんで食べる」といったいわゆるよいしつけと認識されていることを、子ども達に伝えていく必要性を痛感したのでした。なぜなら、むし虫歯をはじめとする口の中の病気は、よい生活習慣が身につけていないと、いくら早期発見、早期治療をしたとしても、結局また病気になってしまうからです。さらに、近年、「日本の子どもたちの30%がいつもお口がぽかんと開いている」、「上手にかめない子が増えている」など口の機能の問題への関心も高まりつつあります。

このような問題への対処には、年齢や発達にあわせた健康づくりが必要です。この講座では、成長発達と生涯基本となる生活習慣を踏まえた歯と口の健康づくりや口の機能を発達させるためのトレーニングの方法についてお話しします。

準備物：スライドプロジェクター

◆出講可能な時間帯：

4月～7月(前期)・・・月曜日、火曜(午前)、金曜(午前)

10月～1月(後期)・・・月曜日、金曜日

上記の時期あるいは時間帯以外にご依頼される場合は、生涯学習係までお問い合わせ下さい。

- (1) 専門分野…小児歯科学、障害者歯科学、歯科矯正学、発達障害児への援助
- (2) 主な担当科目…小児歯科学、障害者歯科学、歯科矯正学、歯科放射線学、衛生統計学
- (3) 一言メッセージ…

日本小児歯科学会専門医指導医として小児の歯科治療および口腔の健康づくりに関与しています。

障害者歯科学会指導医としての経験から、障がいのある子どもの歯科治療だけでなく、日常のサポートの仕方など、個々の特性を踏まえた支援の方法についてもご紹介いたします。